

平成 23 年度第 3 回理事会議事録

一般社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 23 年 10 月 7 日 (金)
午後 2 時 05 分から午後 5 時 25 分
2. 開始場所 東京大学理学部 3 号館 320 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 19 名
出席理事 15 名 (定足数 10 名 会議成立)
出席監事 0 名
オブザーバー 8 名
4. 議長 理事 木村 学
5. 出席役員 理事 木村 学
理事 津田 敏隆
理事 濱野 洋三
理事 大村 善治
理事 高橋 幸弘
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 佐藤 薫
理事 小口 高
理事 松本 淳
理事 岩森 光
理事 ウォリス サイモン
理事 富樫 茂子
理事 古村 孝志
理事 畠山 正恒
6. 出席オブザーバー
地球人間圏科学セクションプレジデント 岡部 篤行
宇宙惑星科学セクション幹事 長妻 努
総務委員会副委員長 吉田 武義

男女共同参画委員会副委員長	小口 千明
男女共同参画委員会副委員長	坂野井 健
キャリア支援委員会副委員長	伊藤 谷生
大会運営委員会副委員長	岩上 直幹
大会運営委員会・プログラム局長	中本 泰史
国際学術委員会委員長代理（副委員長）	加藤 照之
地学オリンピック日本委員会事務局長	瀧上 豊

午後2時05分、会長木村学は議長席に着き、開会を宣し、上記の通り定足数に足る出席があったので、本理事会は適法に成立する旨を述べ、議事に入った。

7. 報告事項

(1) 委員会等活動報告

- ・田近広報普及委員会委員長より新WEBサイトがスタートされた旨報告があった（資料P1）
- ・岡部地球人間圏科学セクションプレジデントより東日本大震災シンポジウムが10月9日（日）関西大学にて開催される旨報告があった。（資料P2）
- ・松本環境・災害対応委員会委員長より東日本大震災関連の各学協会の対応及び今後の予定が報告された。（資料 別紙 1）又、次回連合大会における震災関連セッションを複数立ち上げる予定である旨報告があった。今後国際セッションの立ち上げも視野に入れ活動していくことになった。（資料 別紙 2）一般社会との科学との関係を考える視点からも、広報普及委員会の協力のもとに、新WEBサイトに委員会HPを作成し、それを活用し情報発信をしていくことも併せて確認された。その際、日英、英日の翻訳などの必要性もあることも報告された。
- ・加藤国際学術委員会委員長代理（副委員長）及び高橋理事よりAOGS2014年大会の札幌での開催に関して説明があった。AOGS側より札幌のコンベンションビューローに問い合わせがあり、北海道大学と日本地球惑星科学連合が協力する形で開催する可能性が高いとの報告がされた。正式に決定され次第すみやかに報告することが確認された。
- ・高橋理事よりキャリア支援委員会により9月29日（木）に東京大学で開催された「地球惑星科学人材のための進路選択・就活セミナー」について説明があった。有意義なセミナーであったが次回以降、事前周知を徹底することにより多くの学生の参加が見込めるであろうことも報告された。（資料 P3）
- ・その他
日本地学オリンピック委員会
瀧上事務局長より9月5日から14日までイタリアのモデナで開催された第5回国際地学オリンピックイタリア大会の結果について報告があった。金1銀2銅1であったが、日本人高校生が英語力の不足により実力が発揮されていないことも考えられる為、

今後、英語力増強に力を入れて行く旨説明があった。今回震災の為開催を見送らざるを得なかった日本での国際地学オリンピックの開催に関しては既に決定しているアルゼンチン、アメリカ、ロシアの後出来れば日本開催を考えていると説明があった。

又、A0 入試用に地学オリンピックの二次選抜に残った高校生には証明書を発行していることが説明された。徐々に地学オリンピックを A0 入試に採用する大学が増えつつあることも報告された。9月1日より第4回日本地学オリンピック大会（第6回国際地学オリンピックアルゼンチン大会選抜）申し込みが開始されているので、呼び掛けをしてくれるよう依頼があった。

国際地理オリンピック日本委員会

岡部地球人間圏科学セクションプレジデントより、2013年に京都で開催される国際地理連合（IGU）の国際会議に合わせて地学オリンピックを京都で開催する予定なので、連合のご支援をお願いしたいという要望があった。

サイエンスアゴラ

田近広報普及委員会委員長より10月18日～20日に東京・お台場にて開催されるサイエンスアゴラに日本地球惑星科学連合も参加することが報告された。

(2) 日本学術会議報告（資料 P4-5）

・第22期新体制名簿

永原委員長に代わって木村会長より新体制について説明があった。

日本地球惑星科学連合からは木村会長の他、もう一人協力してくれる人を推薦してもらいたいと依頼があった。木村会長が後日直接問い合わせ決定することになった。

・今後の課題

教育の質の保証、学術の大型研究問題、大震災関連に関して今後ともとりくんでいく旨、説明があった。連携会員に関しては資料 P5 を参照。

（資料 P5 連携会員名簿 3 梅津→海津に訂正）

15:20 一時休会

15:35 再開

(3) 義捐金執行方針

義捐金の用途に関して畠山理事より説明があった。宮城県 古川東中学校への支援に関しては窓口担当の先生との交渉が最終段階で、確認がとれ次第発注、購入の予定である旨、報告された。（資料 P7）

残りの義捐金に関しては前回の理事会で線量計がよいのではないかという話になったがその時は予約待ちで購入できない状況であったが今ならアメリカ製で一台5万円程度のものが購入可能であることが報告された。線量計にこだわる必要はないので、吉田総務委員会副委員長と畠山理事が連携し、東北の学校に再度何が必要なのか問い合わせ

なるべく早く何らかの形で支援をすることが確認された。

(4) 公益認定申請状況 (資料 P10-11)

谷上事務局長より、公益法人認定の申請を 9 月 21 日に提出したこと、順調に行けば 12 月第 2 週位に公益法人認定がおりるであろうことが説明された。その後一度 12 月で決算をし、社員総会に諮り、改めて 1 月から 3 月までの予算をたて理事会で諮るという方針が確認された。

(5) その他

高橋理事より、2012 年大会時が金環食と重なる為、金環食の観測を連合大会で行ったかどうかという提案があった。異論はなかったので高橋理事を中心に地域の小・中学校に呼び掛けるなど、開催に向けて準備をしていくことになった。

8. 審議事項

第 1 号議案 選挙関連 (資料 P12-18)

代議員選挙について木村会長より各分野でできるだけたくさんの人に投票してもらう為各セクションから働きかけをしてほしい旨依頼があった。前回はセクションによりかなり投票率にばらつきがあったので各セクション幹事を中心に働きかけてもらうことになった。前回の各セクションの投票率を参考までに事務局が発信することになった。理事は新代議員(社員)が選出すること、理事は一機関から 1/3 以上出てはいけない事、などが確認された。無投票で代議員が決定するケースを想定していなかったため、補欠選挙に関する実施規定が今までなかった、という件に関し、次回の理事会までに選挙管理委員会に決めてもらうよう谷上事務局長より選挙管理委員会に依頼することになった。今回は地球惑星科学総合が無投票で代議員が決定する(補欠要員なし)。

第 2 号議案 2012 年大会準備について (資料 P19-37)

中本大会運営委員会・プログラム局長より 2012 年大会の基本方針の説明があった。2011 年大会と変わる点はオーラルとポスターを 1:1 の割合にする。オーラルとポスターから選択する二択形式とし、ポスターには原則 3 分間のオーラルがつく。(ポスター講演の 3 分間のオーラルは辞退可能) これに合わせコンビーナーガイドラインも変更済である。コンビーナーにも投稿者にもきちんとアナウンスをしてほしい、ポスターとオーラルは同じ日に設定してもらいたい、シミュレーションを入念にやってもらいたいなどのリクエストが出された。又、ポスターの招待講演を作ることも報告された。会場数が 15 会場から 18 会場に増えることなどと併せオーラルセッションの開催時間を 8:30-18:30 であった 2011 年大会から 9:00-17:00 に時間短縮する予定であると説明があった。

資料 P36, 37 の祖父江先生から依頼の参加費無料セッション開催希望に関し議論がされた。参加費を無料にしたいというリクエストだが、パブリック以外で参加費無料とする必要性が明確でないという結論に達し、特別扱いはしないという事を中本プログラム局長よ

り、祖父江先生に丁重にお話ししていただくという方針が満場一致で決定された。

資料 P32-35 のジオパークセッションに関して濱野理事より説明があった。

参加費、投稿料すべて無料であることに関して、ジオパークを推進する自治体の下には一般の人がいるということを考え、宣伝効果もある投資と考えれば無料のセッションとする必要性もわかるが、今はジオパークも NPO 法人にもなった事でもあり、いつかはきちんとペイしてもらふ必要があるのではないかという意見も出された。お支払いをお願いする時期に関しては議論の余地があるが、ジオパーク関係者より、参加費、投稿料を無料とする必要性の根拠を明示して頂くことと、それを受け入れた場合、事業計画にそれを明記し、正当な社会貢献を実施していることを、連合内外にアナウンスする必要があることが確認された。濱野理事が渡辺真人ジオパークセッションコンビーナーと話し合いをもち、結果を次回理事会で報告することになった。

優秀学生奨励賞について木村会長より 2012 年大会ではできれば固体地球と地球生命科学以外の 2011 年大会で参加しなかったセッションにも是非積極的に検討してもらいたい旨依頼があった。岩森理事より固体地球で応募してきた学生の中でも境界領域の学生を今回は受け入れることができなかつたので、将来的には受け入れたいし、その為にはやはりセッション毎ではなく、連合全体として考えることができることが望ましいのではないかという意見が出された。連合全体としてのフェロー制度について検討を推進してくれるよう、木村会長より岩森理事に依頼された。

第 3 号議案 JpGU 商標登録取得について (資料 P40-41)

9 月 22 日に開催された経営企画会議で取り上げられた商標登録に関して事務局より説明があった。4 社から見積もりをとっており、今回は第 41 類「学会及びセミナーの運営又は開催」という 1 区分のみに「JpGU」という商標登録を申請することが満場一致で可決された。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 5 時 25 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 23 年 10 月 7 日

一般社団法人日本地球惑星科学連合 平成 23 年度第 3 回理事会

出席理事 木村 学 印

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 濱野 洋三 印

出席理事	大村	善治	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	佐藤	薫	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	松本	淳	印
出席理事	岩森	光	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	富樫	茂子	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	畠山	正恒	印